

「ごめんなさい」と言わないで

-Don't say you're sorry-

Kyoji

悪いことをして怒られる子供の気持ちを想像してみよう。

...

.....

.....

無理だ。

わからない。

なぜか？

そんなの明らかだ。

だって私たちはもう知ってしまっているから。

たとえば自分の子供が公園でアリをつぶして遊んでいたら、あなたは怒る？

私は怒らない。

なぜなら、悪いこととは思わないから。

じゃあ、アリじゃなくてハトだったら？

ハトに向かって石を投げていたら？

あなたは怒る？

私は怒るよ。

なぜなら、悪いことだと思うから。

それじゃあ、

人間だったら？

ほかの子をいじめていたら？

あなたは怒る？

私は怒らないよ。

なぜだかわかる？

悪いことを規定するのは、大人。

子供はしない。

なんとなく悪いことだなあって思うのは、周囲に影響を受けているから。

倫理とか道德という社会の毒薬を嗅がされて、マヒしている。

これを通常は、教育という。

悪いことは、自然の世界には存在しない。

反論したいなら、反証をひとつでも挙げてみてほしい。

アリやハトやその他動物にとって、悪いことってなんだろう？

少なくとも、私は見つけられない。

すべてを調べたわけではないけど、けっこう調べたから間違いない。

自然の世界には、悪いことは存在しない。

子供に悪いことをしてはいけないと教えることは、悪いことじゃない。

でもその理由について嘘を教えるのは感心しない。

悪いことをしてはいけない理由。

ある程度育った子供なら、具体的な説明で納得させることができるだろう。

でもそれは、心情操作だ。

なぜなら、その子供はもうすでに、たっぷり干渉を受けているから。

社会の毒薬に。

マヒして純粋な思考ができないところに、嘘を吹き込む。

操作している。

大人が、子供を。

なんのために？

二歳の子供が置時計を壊して遊んでいることを、どうやって怒ったらいいだろう。

どうやって、それが悪いことだと伝えればいいだろう。

「モノを壊してはいけない」と？

「ケガをするから危ない」と？

たしかにそうだ。

間違っていない。

じゃあ、この主張が間違っていないから、時計を壊すことが悪いことなんだろうか？

どうして、時計を壊してはいけないんだ？

悪いことをしたときに「ごめんなさい」と言わなければいけないと、いつ教わった？
いや、
いつから、勘違いするようになった？
もう覚えていないだろう。
覚えている人なんて、いないだろう。
だから、そのときに素直に感じた疑問に答えられる人も、いないだろう。
どうして、「ごめんなさい」なんて言葉を言わなければいけないのか、なんて。

「そういうものなのだ」という呪文。
まるで、呪いの言葉だ。
いったい、どういうわけで、そういうものなのか。
どうして、そんな言葉ひとつで片づけられてしまうのか。
この不満を口にするものはいない。
彼らは、まだ言葉もうまくしゃべれないんだから。

悪いことをしてはいけない理由は、それが悪いことだから。
子供が失望するほど、呆れた大人の主張。
大人も自分で言いながら呆れている。
まったく馬鹿馬鹿しいとわかりながらも、これ以外に理由がないからしかたがない。

悪いことをして「ごめんなさい」と言うのは、そういうものだから。
大人が決めた、子供の知らない約束事。
大人は意外と納得しているけど、子供は変だなあと思っている。
子供はどうせ大人になるんだから、「ごめんなさい」を覚えなさいといけない。

私が思う、悪いことをしてはいけない理由がある。
それは、自分が損をしないように。
たいていの悪いことは、したら自分が損をする。
犯罪者になったら、いろいろ自分の身に不自由が降りかかる。
小さな罪を犯したら、結局は自分が損をすることが多い。
だから、悪いことをしないほうが、得策だし賢い。
これが、悪いことをしない理由に思える。

同様に、「ごめんなさい」を言う理由。
これも、結局は自分が損をしないように。
悪いことをして、「ごめんなさい」と言わなかったら、

まわりに謝らない人間だと思われる。

すると、損をすることが多い。

周囲が自分に危害を加えるのを防ぐために、人は謝るのだ。

だからそれは、自分が損をするのを防いでいるのと同じ。

「ごめんなさい」を言う理由も、これ。

結論として、
悪いことをしないのは、
すべて、自分のため。
自己保全のため。
自身の安定のため。
そういう姿勢が嫌いな人が、
悪いことをしたり、「ごめんなさい」と言わなかったりする。
でも結局は自分が損をするのだから、
悪いことをせず、「ごめんなさい」を言ったほうが、得策で賢い。
できれば、願うなら、
そういう生き方をしていきたい。

「ごめんなさい」と言わないで -Don't say you're sorry-

<http://p.booklog.jp/book/10250>

著者 : Kyoji

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/ireadforpleasure/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/10250>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/10250>